

令和2年度

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版年	ページ
Reina HAYASHI, Futoshi IWATA, Satoshi KODAMA, Miho TANAKA	Guideline-Based Approach On End-Of-Life Care Decisions In Japan: Practice And Regulation (仮タイトル)	MICHAEL DUNN & DAISY CHEUNG			刊行予定	
岩田 太	医療安全の向上のための事故情報の説明・謝罪	甲斐克則編集	医事法講座第11巻医療安全と医事法	信山社	2021年3月	119-142
岩田 太	治療の中止と差控えをめぐる法的側面	氏家良人監修, 木澤義之編集	救急・集中治療領域における緩和ケア	医学書院	2021年2月	54-64
樋口 範雄	アメリカにおける高齢者法の始まり	片山直也その他編	池田眞朗先生古稀記念論文集 民法と金融法の新時代	慶應義塾大学出版会	2020	541-563
畑中 綾子	医療事故の原因究明と医療安全制度の構築	甲斐克則編	医事法講座第11巻医療安全と医事法	信山社	2021年3月	143-168
佐藤 恵子	インフォームド・コンセントとshared decision making.	勝俣範之編集	抗がん剤をいつやめるか? どうやめるか?	日本医事新報社	2020	88-89
佐藤 恵子	適切なインフォームドコンセントはどのようにしたらよいのでしょうか?	勝俣範之編集	誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法第2版	メジカルビュー社	2020	169-171
佐藤 恵子	「私はあとどれくらいですか」と聞かれたら、何と答えたらよいのでしょうか?	勝俣範之編集	誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法第2版	メジカルビュー社	2020	175-176
秋元 奈穂子	医療事故被害者に対する補償制度ー産科医療補償制度の現在と課題	甲斐克則編	医事法講座第11巻医療安全と医事法	信山社	2021年3月	169-194

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
岩田 太	【論文紹介】 個人責任の追及が医療安全に資する—医療安全対策と法の断絶を克服するための処方箋: David M. Studdert & Michelle M. Mello, In From the Cold? Law's Evolving Role in Patient Safety, DEPAUL LAW REVIEW, Volume 68, pp.421-458 (2019)】	アメリカ法			近刊
樋口 範雄	救急現場とDNA—法的懸念について	プレホスピタル・ケア	第33巻1号	22-24	2020
樋口 範雄	高齢者法の意義と役割	経団連21世紀政策研究所『高齢者の自立と日本経済』報告書		1-17	2020
樋口 範雄	医療倫理教育—アメリカ	平成30・令和元年度 会員の倫理・資質向上委員会答申 参考資料「医師の生涯教育・学習の現状と課題～諸外国に学ぶ		1-17	2020
樋口 範雄	高齢者の介護義務と社会保障—私的自治と契約の役割	家庭の法と裁判	第27号	29-35	2020年8月
樋口 範雄	人生の最終段階での医療の決定プロセスに関するガイドラインでのACPについて	地域ケアリング	22巻9号 2020年8月号	12-17	2020
樋口 範雄	救急医療の倫理と法	坂本哲也監修『救急・緩和ケア ファーストブック』 (メディカル・サイエンス・インターナショナル、2020) 救急医療に関する翻訳書の付録として		158-161	2020
樋口 範雄	エンドオブライフケアの法的問題の現状と課題	老年内科 科学評論社『老年内科』編集部内田章義, 秋元彩香	2巻5号	579-584	2020年

樋口 範雄	【論文紹介】 医療過誤訴訟と謝罪の意義 Benjamin J. McMichael et al., "Sorry" Is Never Enough: How State Apology Laws Fail to Reduce Medical Malpractice Liability Risk, 71 STAN.L. REV. 341-409 (2019)	アメリカ法	2020年1号		2019
佐藤 雄一郎	わが国におけるワクチンをめぐる法制度 –新型コロナウイルスワクチン接種も含めて–	HAB Newsletter	Vol.27 no.2		2021年 3月
佐藤 雄一郎	新型コロナウイルス感染症と医事法	甲斐克則編『医事法研究 第3巻』	3巻		2021年 3月
織田 有基子	ハーグ子奪取条約の履行確保の一側面～条約実施法等改正を中心に～	国際法外交雑誌 (国際法学会)	119巻3号	1-19	2020年 11月
織田 有基子	ハーグ子奪取条約実施法上の『子の常居所』と『監護の権利』	私法判例リマックス (日本評論社)	60号	130-133	2020年 2月
我妻 学	イギリスにおける継続教育と医師免許の更新制 (revalidation)	日本医師会会員の倫理・資質向上委員会・平成30・令和元年度会員の倫理・資質向上委員会答申『「会員の倫理」向上に向けた方策について』		18-25	2020
我妻 学	司法へのアクセスと新型コロナウイルス感染	月刊司法書士	586号	2-3	2020
畑中 綾子	医療的ケア児の普通校就学不許可の事例	月刊高校教育 (学事出版)	53(12)	88-91	2020年 11月
畑中 綾子	天然由来成分を含む化粧石けんの欠陥	消費者法判例百選 (有斐閣)		206-207	2020年 8月
佐藤 恵子	Patient perspectives on research use of residual biospecimens and health information: On the necessity of obtaining	societal consent by creating a governance structure based on value-sharing. Research Ethics			2020
秋元 奈穂子	【判例紹介】 食品医薬品及び化粧品法による州警告責任の専占の判断方法 Merk Sharp & Dohme Corp. v. Albrecht	アメリカ法 (日米法学会)	2020年1号	133	2020

秋元 奈穂子	科学研究不正の規律における法規範と科学の規範	立教法学	103号	185	2020
秋元 奈穂子	アメリカにおける科学研究不正に対する規律の変遷	年報医事法学	35号	28	2020